

第3回「市長と語るタウンミーティング」を開催しました

- 1 日 時 令和4年11月30日(水曜日) 午前10時～
- 2 場 所 市役所4階 特別応接室
- 3 参加者 民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、8地区社協連絡協議会
吉原地区連合自治会、竜川地区連合自治会 計5名
オブザーバー
(公社)仲善広域シルバー人材センター、善通寺社会福祉協議会

4 会議の概要

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 参加者紹介
4. 高齢者施策に関する現状等 概要説明
5. タウンミーティングフリートーク
6. 閉会

5 いただいたご意見

【テーマ】高齢者が暮らしやすいまちづくり

①生活支援サービスの拡充について、②健康寿命の延伸について

発 言 者	ご 意 見
生活支援サービスの拡充に関するご意見	
吉原地区連合自治会 北岡様	・ 区内には医療機関がなく、近隣地区の病院へ行く場合に距離が近すぎるとタクシー会社に断られるケースがある。 ・ 買い物バスについては、社会福祉協議会の買い物バス運行が非常に好評である。現在はコロナ禍ということでストップしている。買い物バスに添乗し、荷物の持ち運びや諸々の手助けをしてくれる社協の見守り隊の同乗が難しく再開には至っていない。オンデマンドバスについての調査はしていないが、買い物支援については見守り隊の存在が大きいいため、現状の社協による買い物支援がいいのではないかと考える。

発 言 者	ご 意 見
生活支援サービスの拡充に関するご意見	
(オブザーバー) 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物バス（生活支援型の高齢者等外出支援事業）は平成 14 年度に交通弱者への取り組みでモデル地区に吉原地区を選定し、始まったもの。 ・一番重要なのは福祉協力員。高齢者を目的地へ連れて行くだけでなく、現地でのお手伝いをしてもらっている。現在は買い物バスの運行は保留になっているが、社会福祉協議会としては住民と一緒に協働していきたい。 ・住民の助け合い、支え合い活動を地域福祉コーディネーターが仲介及び調整し、生活支援サービスの充実について検討している。 ・担い手不足が課題。公民館を上手く活用し、地域支援の担当職員を市と協議していく。
竜川地区連合自治会 川村様	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について、今も空海号はそれなりに需要があるのではないかと思う。まずはデマンドバスの使い方を住民に理解してもらう必要がある。十分な周知が必要。 ・地区内では高齢者の単独世帯が目立つようになってきており、連絡がつかない家が増えた。近所関係の希薄化も進行している。 ・ゴミ出しについて、高齢のため地域のゴミ出し当番が出来なくなり、自治会を脱退させられる実態がある。
老人クラブ連合会 松本様	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の孤立を防ぐため、外出しやすい環境を作ることが大切。コミュニティセンター構想への移行を検討し、公民館に防災機能を持たせてはどうか。 ・魅力ある老人クラブとするため、運営に工夫が必要。 ・広報紙で高齢者向けの情報は少ない。高齢者も行政デジタル化の恩恵を受けられるよう、情報発信に工夫を。 ・ゴミ出しについては、根本的なゴミ処理ルールの見直しが必要。

発言者	ご意見
生活支援サービスの拡充に関するご意見	
民生委員児童委員協議会 村上様	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援としては、以前までシルバーと市で実施していた「ちょこっと号」を多くの方が利用していた。安く買いやすく、融通が効いて、また、購入後に重い荷物を運んでくれたりと、とても重宝していた。毎週来る「ちょこっと号」を利用することで高齢者の安否確認ができ、それが地域の見守り活動になっていた。「ちょこっと号」の復活を。
(オブザーバー) シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援サービス「ちょこっと号」は善通寺市介護予防日常生活支援総合事業の一環として、家に閉じこもりがちな高齢者の外出支援や地域の人との交流を促していくことを目的に始まったもので、廃止の際には大勢の方からご意見があった。公益法人の会計上、経理的な部分で指摘を受け、改善をする必要があり「ちょこっと号」の事業は廃止せざるを得なくなった経緯がある。
8地区社協連絡協議会 山下様	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や長寿会等の組織加入率が低下しており、住民の地域への関心が薄らいでいるのではないかと思う。関心を持ってもらうためにも地域活性化の対策が必要。 ・自治会に設置する委員に環境委員や健康推進委員があるのと同じように「福祉委員」を設置してはどうか。 ・見守り活動について、西部地区では活動開始から8年になるが、もっと活性化できる手立てや支援をお願いしたい。 ・各地区公民館については、所管を教育委員会から市長部局に移行してはどうか。公民館は地域の活動の拠点であるため、使いやすいものに。

発 言 者	ご 意 見
健康寿命の延伸に関するご意見	
吉原地区連合自治会 北岡様	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に手軽に利用できる公園を増やす。 ・ボランティア公園の再考を。
老人クラブ連合会 松本様	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を中心に高齢者が集まりやすい居場所作りを。 ・地域コミュニティ活動に携わる運営側の後継者不足が課題。 ・外出をすることが健康に繋がる。
民生委員児童委員協議会 村上様	<ul style="list-style-type: none"> ・外出できる環境作りを。近くに集会場がなく、高齢者の交流の場となるふれあいサロンの開催が難しい地区もある。 ・公民館の在り方の検討が必要。高齢者向けの体操教室などが歩いて行ける範囲にあれば。
(オブザーバー) 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロンは市内 100 数箇所で開催しており、地区によりサロンの数に差がある。 ・近くに集会場がない地区は自宅や境内など工夫して実施している。小さな多世代交流の拠点を作ることが大切。
8 地区社協連絡協議会 山下様	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことが大切。 ・公民館や公園に設置されている健康器具の利用促進について検討を。設置場所についても検討が必要。
その他の ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援について、タクシー会社と市が契約し、買い物代行サービスを実施している自治体があったような。他の自治体の生活支援サービスも参考になるのでは。 ・防災行政無線が充分聞き取れない。いざという時に役にたたない。戸別設置を検討してはどうか。